

津山工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	日本漢字能力検定
科目基礎情報				
科目番号	0092	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	参考書: 国語辞典, 漢和辞典, 日本漢字能力検定 2級以上に対応した問題集 (どの出版社のものでもよい), 漢検 (日本漢字能力検定協会) 公式ホームページ http://www.kanken.or.jp/			
担当教員	江原 由美子			
到達目標				
学習目的: 常用漢字や熟語等の日本語知識について理解を深め, それらを適切に活用して表現する力を高める。				
到達目標 1. 漢字が関わる日本語の知識を増やし, それらを適切に用いて表現できる。 ◎ 2. 効果的な説明方法や手段を用いて, コミュニケーションを図ることができる。				
ルーブリック				
	優	良	可	不可
評価項目1	日本漢字能力検定 2級以上に優秀な成績で合格する。	日本漢字能力検定 2級以上に良好な成績で合格する。	日本漢字能力検定 2級以上に合格する。	日本漢字能力検定 2級以上に合格できない。
評価項目2	日本漢字能力検定 2級以上の漢字の知識を活かし, より良いコミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2級以上の漢字の知識を活かし, 円滑なコミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2級以上の漢字の知識を活かし, コミュニケーションを行うことができる。	日本漢字能力検定 2級以上の漢字の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	一般・専門の別: 一般 学習の分野: 国語 基礎となる学問分野: 人文学 / 言語学 学習教育目標との関連: 本科目は「④教養豊かな実践的人間力の養成」「⑤グローバルな視点と社会性の養成」及び「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要: 漢字の学習を自主的に行い, 日本漢字能力検定 (漢検) の受験でその成果を試す。			
授業の進め方・方法	授業の方法: 担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定の受験に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。 成績評価方法: 日本漢字能力検定 2級以上に合格した者は, 担当教員に申し出るとともに, 所定の期日までに教務係へ単位修得申請を行うこと。教務委員会が単位認定を審議し, 合・否で評価する。			
注意点	履修上の注意: 本科目は1~3年対象の選択科目である。所定の期日までに, 選択科目履修願を提出すること。また, 本科目は資格取得による科目であり, 単位の修得には単位修得申請手続きを行うことが必要である。選択科目において課程修了のために認定される単位数は, 一般科目については4単位以内, 専門科目については6単位以内である。 履修のアドバイス: ・事前に行う準備学習として, 漢検 (日本漢字能力検定協会) 公式ホームページ等を見て, 自分のレベルをチェックしておくこと。 ・公開会場 (県内は岡山市と倉敷市に設置) で個人受験をすること。2023年度の公開会場の検定日は, 第1回が6月18日 (日), 第2回が10月22日 (日), 第3回が2024年2月11日 (日)。 ・2級は, C B T受験も可能。CBT試験会場は, 県内では岡山市北区の他, 津山市 (PCらいふパソコンスクール津山校テストセンター: 津山市二宮71) にも設置されている。 基礎科目: 国語 I (1年), 国語 II (2), 国語 III (3), 国語 IV (4) 関連科目: 漢字が関わる全科目 受講上のアドバイス: ・2級は, 高校卒業・大学・一般程度のレベル (すべての常用漢字について, 読み書きや, 文章中での適切な使用ができるレベル) であるが, 実力で合格することは難しく, 受験対策の勉強が必要である。 ・1級は常用漢字 (2136字) を含む約6000字, 準1級は常用漢字を中心とした約3000字が対象漢字となる。どちらの級も大学・一般程度のレベルとされているが, 合格するにはかなりの努力が必要である。 ・以上をふまえ, 自身の漢字能力と受験日に合わせて, 学習を進めること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
選択				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本漢字能力検定についてのガイダンス。	単位認定の要件について理解する。
		2週	担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定 2級以上の受験に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。	受験日を考えて勉強を進めることができる。
		3週	同	同
		4週	同	同
		5週	同	同
		6週	同	同
		7週	同	同
		8週	(前期中間試験)	
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに, 日本漢字能力検定 2級以上の受験に対応した問題演習を, 各自が自主的に行う。	受験日を考えて勉強を進めることができる。
		10週	同	同
		11週	同	同
		12週	同	同

		13週	同	同
		14週	同	同
		15週	(前期末試験)	
		16週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
後期	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		2週	同	同
		3週	同	同
		4週	同	同
		5週	同	同
		6週	同	同
		7週	同	同
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		10週	同	同
		11週	同	同
		12週	同	同
		13週	同	同
		14週	同	同
		15週	(後期末試験)	
		16週	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	期日までに単位修得申請手続きを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0